

I ハイスクールビジョンの策定に当たって

本市教育委員会では、これまで推進してきた「魅力ある高校づくり」の一層の充実に取り組むため、市立高等学校の将来構想となる「広島市ハイスクールビジョン」(以下「本ビジョン」という。)を策定し、今後の本市高等学校教育の基本方針を示します。

1 計画期間

平成28年度(2016年度)から平成37年度(2025年度)までの10年間。ただし、社会経済情勢の変化に柔軟に対応するため、5年経過した時点で必要に応じ、中間見直しを行います。

2 ハイスクールビジョン推進プログラムの策定

本ビジョンに基づき、各市立高等学校における学科、コース等の特色を生かした具体的な行動計画となる「ハイスクールビジョン推進プログラム」を別途策定します。

II 広島市域内の高等学校の20年後の姿を見据えた今後の取組

市立高等学校においては、「知識基盤社会」を担い、国際平和文化都市の理念の実現に寄与する人材育成を目指し、共通の取組として「確かな学力の育成」「豊かな心の育成」「広島らしい教育の推進」等に積極的に取り組んできました。

これからの本市の高等学校教育の一層の充実を図るためには、グローバル化や国の教育制度改革などを踏まえ、本市における県立・私立も含めた高等学校教育の在るべき姿を今一度捉え直し、20年後の市立高等学校の姿をイメージする必要があります。その上で、今後10年間程度は、まず、「魅力ある高校づくり」のソフト面の充実に向けて、探究を中心とし、主体的、対話的な「豊かで深い学び」による授業の実現やカリキュラム・マネジメントの推進のほか、教員の資質向上等に取り組めます。

また、併せて、地域の周辺部を含む県立・市立・私立学校の設置主体が、それぞれの特性を生かした多様な教育を提供しつつ公立・私立間及び県・市間の機能分担の在り方について幅広く議論する場を設定し、検討を進めます。

その後の平成38年度(2026年度)以降の10年間程度は、この検討結果を踏まえ、公立・私立間及び県・市間の質的・量的な機能分担を図り、各学科、コースの入学定員の調整や学校、学科の統廃合を行いつつ、より適正な市立高等学校の校数や規模、学科、コースを構築し、さらに質を重視した「魅力ある高校づくり」に取り組めます。

III ハイスクールビジョンの実現に向け、目指す人間像と重点を置く教育

1 広島市の高等学校教育が目指す人間像

「志高く、世界に誇れるまちHiroshimaを創造する人材」

2 重点を置く教育

(1) 全ての生徒が共通して身に付けるべき資質・能力の育成 <共通性の確保>

ア 市民社会の一員として参画し貢献する意識の醸成(人格形成・自己実現)

「共通性の確保」の観点から、まず、義務教育段階の取組の成果を進展させ、確かな学力、豊かな心、健やかな体をはじめとして、多角的・多面的に吟味し見定めていく力や創造力、情報活用能力、ICTを理解し使いこなす科学的素養など、これからの時代に求められる資質・能力を育みます。その上で、主体性や多様性を尊重する態度、他者と協働するためのリーダーシップやチームワーク、平和希求の心、社会に貢献する意欲といった資質・能力を育みます。

また、知識・技能を活用して、自ら課題を発見し、その解決に向けて探究し、成果等を表現するために必要な思考力・判断力・表現力や学びに向かう力を育みます。

イ 社会・環境の変化への適応に必要な力の育成

グローバル化や情報化が進化する社会の中では、先を見通すことが難しい状況が生じています。子どもたちが将来就くことになる職業の在り方についても、技術革新等の影響により大きく変化すると予測されており、これらに対応するための資質・能力を育みます。

また、将来にわたり活力ある社会を持続・発展させるため、これまで以上により重点的に一人一人の個性を生かしながら人間力を高め、社会の担い手として必要な力を育みます。

(2) 多様な学習ニーズへのきめ細かな対応 <多様化への対応>

一人一人の生徒の進路に応じた多様な可能性を伸ばす「多様化への対応」の観点からは、学び直しや優れた才能・個性を有する生徒への指導・支援など、様々な幅広い学習ニーズを踏まえ、各高等学校が、それぞれの学校や学科の特色に応じた魅力ある教育課程を編成・実施します。

また、多様化への対応を実効性のあるものとするために、国の施策や全国の高等学校等での先進的な取組における成果等も踏まえながら、生徒一人一人の多様な進路に応じた教育に重点を置くこととします。

3 共通性を確保した上で提供する多様な教育の方向性

課 程	科・コース		20年後のイメージ	今後10年間に、共通性を確保した上で提供する多様な教育の方向性
全日制課程	普通科	普通	高等学校の各学科、コースについては、公・民間、県・市間の機能分担に基づき、入学定員の調整や学校、学科の統廃合を行う。 そのため、広島広域都市圏を見据えた市立高等学校の適正な校数や規模、学科、コースを構築し、さらに質を重視した「魅力ある高校づくり」に取り組む。	将来、多様なキャリアを形成して国際社会で活躍する人材や、地域社会に根ざし郷土に貢献する人材を育成する。大学や専修学校等を卒業後、グローバル・リーダーとなる人材のほか、培った技術や知識を地域の産業、まちづくり、観光の振興、福祉や教育の充実、情報化の推進等のために還元することのできる人材を育成する。その際、生徒の志やスキルに応じて自ら進路を選択し、拓くために必要な力を身に付けさせる。
		国際コミュニケーションコース		大学との連携や、その道に優れた講師の招へい等により、生徒個々の才能を引き出しながら専門的スキルや競技力を向上させ、各分野において国内外で活躍する人材を育成する。
芸術コース、体育コース	地域経済の変化に即応し、地元製造業やサービス産業等のニーズに応じた、地域産業界の中核となるスペシャリストを企業と連携して育成する。			
	専門学科(商業、工業)			
定時制課程及び通信制課程	新しいタイプの高等学校(平成30年度開校予定)			課程の枠組みに捉われないフレキシブルな学びの実現を図り、再チャレンジや学び直しが可能で、他者と協力・協働して社会に参画し、自ら主体的にキャリア形成できる人材を育成する。
中高一貫教育				6年間を通して高度な英語教育等を提供し、大学卒業後には、英語によるコミュニケーション能力や高い理想と品格を備えたグローバル・リーダーとして国内外で活躍する人材を育成する。